

令和三年十月二十三日 信者心の基勉強会家庭編

神 示

家族で「教え」を学び 「真理」のある家庭家庭環境に身を置くことで

人は皆人間 「分」ぶん 立場をわきまえた関わりが持てる

「和のある家庭」の姿が ここにある

信者に申す

「教え」を学び

「真理」に生きる努力を欠いてはいけない

「心の姿」に映るまで

「分」ぶんに重なる「心」を求めて 祈願を重ねる

自然と家族に思いが向かい 愛情 会話も深まる

病気も 事故 災難も 家族に起きない

和のある家庭環境が いか「人生」を守るか

「人生の真理」を悟るべし

人間の正体は魂

肉体に宿った魂は 運命の力を引き出し

人生を悔いなき時代へと導き守る

なれど 今 現実 運命 力を引き出すすべを知らずに

日々生きる人人々が多い

「教え」に悟りを深めることで 「希望の光」みちが通り

「和のある家庭」の姿を 真実 家族の心は開眼かいげんしてゆく